

<b>千葉県</b>	<b>栄町</b>	<b>NPO法人クレンサ・スポーツ・アカデミー</b>
------------	-----------	-----------------------------

<b>予算額</b>	12,543,826 円
------------	--------------

<b>地域課題解決に向けた取組</b>
---------------------

1	取組の名称	①小学生の基礎的運動能力の改善と向上について ②同検討委員会				
	趣旨・目的	<p>小学校体育活動コーディネーター派遣事業を通じて、運動神経も鈍化傾向や絶対的運動量の減少で肥満傾向の児童が割合として多く感じられ、元気のない子ども達が多く見受けられたことから、子ども達を元気にすることが地域の課題であると考え、学校の体育授業以外の体育活動に積極的に参加し、小学生の運動能力の改善と向上、運動技術の向上を図り、元気な子ども達を育てる活動を進めることとしました。</p> <p>本テーマに対して検討委員会を設置し、4校の校長・教頭・体育主任、またPTAからも代表者を数名参加いただくなど、現場からの問題点や改善点、または保護者からの視点で問題点や改善点を定義しながら事業を進めることとしました。</p>				
	内容	<p>始業前及び放課後の時間を利用し、地区対抗や校内のスポーツ大会種目に合わせて、スポーツ活動を実施しました。選抜選手は大会に向けての練習を行い、それ以外の生徒はコーディネーショントレーニングを中心に、様々なスポーツ活動を実施しました。</p>				
	対象者	①本塾第一小、本塾第二小、竜野小、八生小の全児童 ②本塾第一小、本塾第二小、竜野小、八生小の学校関係者	参加人数/回	①751名 ②20名	実施回数	①本一4回、本二6回、滝野72回、八生13回 ②1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業だけでは児童に必要な運動量は確保出来ない。放課後等の時間を利用した。</li> <li>・ 駅伝練習やバスケット大会、マラソン大会に向けての指導も行った。</li> <li>・ 体操では、ユニバーシアード優勝や、日本インカレ優勝などの選手の演技を披露して、児童らの意欲を向上させる工夫を行った。</li> </ul>				
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅伝大会、バスケット大会などで好成績を収めたり、マラソン大会では多くの者が自己新を更新するなど、児童、父兄、先生らに感動をもたらした。また、健常児童はもちろん、心身障害児童にも体育に対し意欲的になった。</li> <li>・ 健常児だけでなく、障害を持つ児童も意欲的になった。</li> </ul>				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抜本的な運動能力低下の原因を追及と解明の必要性を感じるとともに、学校だけでなく、地域や家族との連携と協力が今後の事業展開のカギとなると考える。</li> </ul>				

2	取組の名称	地域のスポーツ環境について考えよう				
	趣旨・目的	<p>地域のスポーツ環境整備の参考とするため、スポーツ関係者の多く集まるマラソン大会の会場で、スポーツ環境についてアンケートを実施しました。</p> <p>また、マラソン関係のトップアスリートと陸上関係のコーチや地域のスポーツ関係団体の代表者、来場者とともに地域のスポーツ環境についてのシンポジウムを実施。</p>				
	内容	<p>施設・指導者・クラブなど、地域のスポーツ環境について、アンケートを実施しデータ収集を行いました。また、トップアスリートやトップ指導者と地域の指導者や来場者との意見交換を積極的に実施しました。</p>				
	対象者	地域住民	参加人数	1200名	実施回数	1回
	効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マラソン大会会場というスポーツ関係者の多く集まる会場で事業を実施し、多くのデータ・情報を収集できるようにしました。また、ランニング教室を開催し、スポーツ指導の在り方について目に見える形で伝えるようにしました。</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のスポーツ環境と地域の人々のニーズの傾向を把握することができ、今後の事業活動の展開の参考となるデータ収集ができた。</li> </ul>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トップアスリートをはじめ多くのスポーツ関係者が集まりシンポジウムの開催を計画していましたが、シンポジウム開催直前から強風が吹き始め、テントが飛ばされるなど会場の天候悪化により、直前で中止となってしまった。良いメンバーが集まり期待したシンポジウムでありましたが、非常に残念でした。</li> </ul>					

## 小学校体育活動支援

派遣先学校総数	4 校
---------	-----

コーディネーター総数	56 名
------------	------

### 【効果を高めるための工夫や取組など】

- ・ 運動量の確保、体力と技術の向上を目指すため、授業の種目ごとに専門のものを派遣し、充実した支援ができるような体制をつくるよう努めた。

### 【成果と課題】

#### 〔成果〕

- ・ 児童は、全国レベルのアスリートの動きを直接見ることで、イマジネーション・モチベーションを高く持ちながら授業に取り組むようになってきた。
- ・ トップアスリートの指導は、視覚的効果のほか、経験を活かした的確なアドバイスは技術習得に大きな効果が出ています。また、先生方も指導のポイントやサポートの仕方など大いに参考になったのではと感じている。
- ・ できないことができるようになったり記録が伸びたり、日々の変化に伴い、児童や先生方の意識や取り組みが手に取るように変わっていくのが肌で感じられ、先生方も児童の笑顔が増え、学校全体の雰囲気も明るくなってきたと感じている。

#### 〔課題〕

- ・ 小学校体育の指導に専門性を感じ、種目毎の指導者を派遣しましたが、人材の確保にはかなり苦慮した。
- ・ 一人の指導者が複数の種目を指導するのは非常に難しく、今後は指導者育成と人材確保が今後の大きな課題である。
- ・ 小学校の先生方は、打合せの時間を作るのも難しい状況にあり、貫徹な打合せで対応できるような、カリキュラムの作成なども検討課題の一つである。

## 本事業全体の成果と課題

### 【成果と課題】

#### 〔成果〕

- ・ 小学校体育活動コーディネーター派遣事業を中心に、子ども達、保護者の方々、先生方、その他地域の多くの方々から学校・地域の現状を体験できたこと、多くの声を通じて学校体育の指導現場と児童の体育活動(日常の運動状況も含む)の現状を把握することができたことで、より効果的なスポーツ活動の支援が可能となったと感じています。  
特に、学校現場にはPTA以外は非常に入りにくい状況が多く見受けられたが、本事業の成果により多くの学校関係者からの信頼を得ることができ、外部からの積極的な活動の展開を進める良いモデルケースとなっています。
- ・ 会議の実施や学校での活動を通じて、地域の方々とのコミュニケーションが深まり、今後は、地域の人材を積極的に活用した事業を展開し、幅広くかつ地域に密着した広域的な事業実施体制のベースづくりが実施できました。
- ・ 学校以外のスポーツ大会会場や先生方へのアンケートの実施などにより、幅広い情報集ができたことは、今後のスポーツ活動の展開に非常に参考になりました。

#### 〔課題〕

- ・ 今後の事業拡大や継続的な事業の実施のためには、行政サイドの理解と協力が不可欠です。総合型地域スポーツクラブを所管する社会教育行政分野での理解は感じられるが、本事業を実施する上で欠かせない学校教育行政の理解や協力体制があまり積極的でないと感じています。現に多くの保護者や先生方から事業実施を望む声が直接届いている中で、学校教育行政の理解が得られず、活動できないところも多くあり、非常に残念でなりません。  
今後は、より多くの分野の方々との連携を進め、幅広い活動展開が可能となるよう実施体制の整備を進め、継続性の高い事業となるよう鋭意努力を進めます。